



▲町公式LINE



## 菅野大志の「いどばた会議」

vol.45

まちづくりに関する活動や近況などを  
西川町長・菅野大志が綴ります。今月の**大**ニュース！沼山中岫に5Gアンテナが  
新たに設置されました！

## 1. 対話と要望の反復が大切

様々な課題の中で町だけでは解決できないこともあります。国・県への要望、民間事業者の経営判断が必要な事案など。沼山の対話会で必ず話題となるのは、中岫の携帯電話通じない問題。3年前から私も職員も何度も民間事業者にお願いしてまいりましたが、提供世帯が限られて採算面から難しいとの回答。しかし、この度、想いが通じてNTTドコモ様が5Gアンテナを設置してくれました。役場周辺よりも快適な環境。根気強く仰って頂いた沼山区長、沼山の皆様ありがとうございました🙏



◀想いが通じ5Gアンテナ設置へ

## 2. 優しい保育士さん、温かいおいしい給食、好環境のにしかわ保育園！

## (1) にしかわ保育園の現状

3歳～5歳は、保育料無料化により全員が入園。保護者の働き方を支援しています。

## (2) にしかわ保育園の強み

【保育面】保育士1人当たりの保育園児4.6人（国平均5.3人）ときめ細やかな保育

【施設面】遊戯室のエアコン導入、玄関の自動ドア化

【環境面】園児1人当たりの屋外遊戯場・園庭が43.6㎡。国の基準（3.3㎡）を上回る

【無償化】町立保育園を活かして、3～5歳、第3子の保育料や給食費を無償化

【栄養面】地産地消の食材を中心に施設内で調理した、温かい給食。

## (3) 強みを生かした保育園留学と保育園を移住政策に！

西川町では、令和5年度より、町外の方が1・2週間、家族と保育園に入学する保育園留学を開始。3年間で69家族・95人が利用。なんと、夏季と冬季が人気です。

保育園留学は、少子化のため保育士さんの雇用を守るためだけでなく、西川ファン獲得することが目的です。保育園留学で来町された方の約6割からふるさと納税をいただいております。

この強みに加え、フェリシア保育園と連携して英語も学べる保育園として、移住政策の柱にもしてまいります。保育園関係者の皆様、子どもたちのために頑張りましょう🔥

■令和7年度の保育園の状況

(単位：人)

|     | 0歳  | 1歳   | 2歳  | 3歳   | 4歳   | 5歳   | 計     |
|-----|-----|------|-----|------|------|------|-------|
| 出生  | 10  | 9    | 10  | 16   | 22   | 17   | 84    |
| 園児  | 5   | 9    | 9   | 16   | 22   | 17   | 78    |
| 保育率 | 50% | 100% | 90% | 100% | 100% | 100% | 92.8% |

## 3. 企業版ふるさと納税の取組を説明

西川町では、企業版ふるさと納税寄付を通じて課題解決していることを片山さつき財務大臣にご説明いたしました。特に、建設水道課職員が小山・軽井沢地区の浄水施設を整備したいとの課題をイーリスコーポレーション（本社：大阪府）に伝え、浄水施設の寄附事例に関心をもっていただき、本制度を継続したいと仰っていただきました。お住まいの方からも「大雨が降ってもお風呂が入れる！」と喜んでいただきました。



▲片山財務大臣へ説明しました

▲右がイーリスコーポレーション  
亀井社長